

【注意事項】統合開発環境 e² studio (RA ファミリにおけるステップ実行時の注意事項)

R20TS1112JJ0100
Rev.1.00
2025.03.05

概要

統合開発環境 e² studio の使用上の注意事項を連絡します。

1. RA ファミリにおけるステップ実行時の注意事項

1. RA ファミリにおけるステップ実行時の注意事項

1.1 該当製品

e² studio 2024-07 以降

1.2 該当デバイス

RA ファミリ

1.3 内容

プログラムをデバッグ中、ステップ実行の繰り返しで関数にステップイン、または、関数からリターンしようとする、e² studio が実行状態となり、Debugger Console ビューに “PC not saved” と表示され、その後のデバッグ操作ができなくなる場合があります。

1.4 発生条件

- RA0 シリーズ、または RA2 シリーズ

割り込み・例外ハンドラから呼び出された関数からのリターンをステップ実行の繰り返しで行った際に発生する場合があります。

- RA4 シリーズ、RA6 シリーズ、または RA8 シリーズ

TrustZone を使用したプログラムで、ノンセキュアプログラムからセキュアプログラムの関数に遷移する命令をステップ実行した場合、および、ノンセキュアプログラムで割り込み・例外ハンドラから呼び出された関数からのリターンをステップ実行の繰り返しで行った場合に発生する場合があります。

1.5 回避策

当該関数からリターンする場合、ステップ・リターン実行、戻り先アドレスで「指定行まで実行」を使用、または、戻り先アドレスにブレーク・ポイントを設定してプログラムを実行してください。

また、セキュアプロジェクトの関数に遷移する場合、遷移先の関数で「指定行まで実行」を行うか、遷移先アドレスにブレーク・ポイントを設定してプログラムを実行してください。

なお、本内容はデバッガ使用時の問題であり、生成されたコードには問題ありません。

1.6 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。(2025 年 04 月予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Mar.05.25	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。